

(株主 A 様ご質問)

AI の開発に関して、例えばテスラ社などは必要な機械学習データを世界的規模で収集し、AI チップも開発している。開発スピードの点で競合他社にどう対抗していくのかを教えてください

(ご回答)

AI の技術開発では機械学習データの収集はもちろん、データを分析するアルゴリズムも重要となります。アルゴリズムに関する技術情報には論文等で広く共有されるという特徴があり、機械学習データを活用して構築されたアルゴリズムも公開されています。当社も公開されている学習済みアルゴリズムを活用することで最新の技術をキャッチアップしています。また、国の研究開発プロジェクトで収集された自動運転用の機械学習画像データの活用も行い、開発の質とスピードを向上させています (大淵)

(株主 B 様ご質問)

①株主だけでなく潜在顧客や採用応募者への PR の観点からも、広報や IR について情報の更新速度や内容の充実を図ってほしい

②今後、中期経営計画を発表する予定はあるのか。また、昨年日本経済新聞に掲載されたインタビューに「今後の売上目標 100 億円」とあったが、これは社長が明言したものなのか

(ご回答)

①貴重なご意見・ご要望として承りました (山本)

②AI 分野は今後の成長に向けて注力しているところですが、環境変化や競争の激しい分野なので確度の高い計画を作成・公表するのは非常に難しい部分があります。まずは単年度での収益見通しと重点施策の進捗をお伝えし、新たな中期経営計画の策定が可能となった場合には速やかに公開することとしたいと考えています。売上目標 100 億円については取材の際に今後の抱負を聞かれ、大きな方向性として億単位で 3 桁の売上を目指していきたいという趣旨の会話はあったかもしれませんが、具体的なことは発言していませんし、会社としての公式発表でもないので、その旨ご理解を頂ければと存じます (山本)

(株主 C 様ご質問)

①DMP の画像認識技術は二次元か、それとも三次元か

②DMP の技術はセンサーでデータを取り込んで AI で判断をしているという理解でよいか

③自動運転におけるブレイン (脳) の部分まで開発する戦略なのか

(ご回答)

①従来は 2 台のカメラを使用して三次元で認識するのが主流でしたが、最近ではカメラの設置コスト抑制のために 1 台のカメラで奥行きまで認識する研究を進めています。したがって基本的には三次元とお考え頂いて結構です (大淵)

②そのご認識で結構です。カメラ以外にもレーダー (RADAR)、ライダー (LiDAR) などさまざまなセンサーがあり、コストなどの関係でお客様ごとに使用されたいセンサーは違うので、お客様のニーズに合わせたセンサーで対応できるような研究開発を行っています (大淵)

③自動運転では、大きく認識、判断、操作の 3 つの処理があります。認識の部分はディープラーニングによる画像分析技術を当社は提供しています。また、判断と操作の分野は当社だけでなく、お客様と協力することで対応しています (大淵)

(株主 D 様ご質問)

- ①ニンテンドー3DS 以外で DMP の技術が使用されている商品を具体的に教えてほしい
- ②パチンコ・パチスロの市場規模を教えてください。トップシェアでどのくらいの市場規模になるのか

(ご回答)

- ①お取引先様との関係で具体的な商品名を回答できないものも多いですが、たとえばデジタルカメラでは公表しているところでオリンパス様や富士フイルム様など多くの会社に採用され、当社が高いシェアを獲得しています。その他皆様に身近な商品の例としてプリンターでも採用されているなど、当社の技術が採用された商品の累計出荷台数は昨年時点で 1 億台を超えています (山本)
- ②当社が RS1 で事業展開している遊技機向け LSI の業界は、ここ 2 年ほど風営法の規制の影響で市場が落ちています。約 50% のトップシェアを持つアクセル様の LSI 売上高が数年前で 80 億円弱でした (詳細はアクセル様 IR 資料をご参照ください)。当社はこの市場において、ジグ様やバンダイナムコ様との提携を原動力にシェアを拡大してまいりたいと考えています (梅田)

(株主 E 様ご質問)

- ①日本の道路事情を考えると、自動運転はなかなか難しいと考えるが、どう実現していくのか
- ②持株会制度や譲渡制限付株式 (RS) の付与等によって従業員のモチベーションを向上させるのは良いことだし、それによって優秀な人材も確保してほしいが、それらを株価の上昇にもつなげてもらいたい

(ご回答)

- ①ご指摘いただいた通り、わが国の道路の狭さや通行人の危険性等により、一般道での自動運転は課題が多く実現までにはまだ時間を要すると思われま。他方、人が入ってこない高速道路や農業分野での自動運転は一般道より現実的ではないかと考えます (大淵)
- ②貴重なご意見・ご要望として承りました (山本)

(株主 F 様ご質問)

- ①海外(アメリカ・アジア)展開の進捗を教えてください
- ②ヤマハ発動機との提携による売上はいつごろから計上される計画なのか

(ご回答)

- ①昨年より海外での営業活動を継続しており、パートナーとも協議して製品開発にフィードバックしています。より強い製品を用意して、市場を開拓していくのもうしばらくお時間をいただければと存じます (梅田)
- ②ヤマハ発動機様とは昨年より自動化等で業務受託ビジネスを行っており、今年度もそれは継続していきます。今回の提携に係る成果については、今後数年の中で売上が計上されていくものと見込んでいます (山本)

(株主 G 様ご質問)

- ①今後開発体制を強化していくにあたって、DMP の人材獲得に対する考え方を知りたい
- ②インサイダー情報が社内から漏洩しないようにどんな対策をとっていくのか

(ご回答)

- ①国内だけでなく海外も対象として技術者を採用しており、現在 10 カ国程度の技術者が在籍しています。当社における開発業務は英語ができれば従事可能で、日本語能力が障害にならないのが採用上の強みと考えます。また、社内人材の育成にも注力することで会社として AI の技術力の向上に努めています (山本)
- ②当社においてはインサイダー取引の問題は一切確認されていません。関連規程の整備運用や東京証券取引所から講師の派遣を受けて教育研修を行うなどインサイダー取引の防止のため最大限の努力をしており、今後もそれを継続してまいります (山本)